

なかがわ 議会だより

No **150**

2024.11

▶発行/中川町議会 編集/議会広報特別委員会



10月11日(金) 町議会調査で中川村の陣馬形山キャンプ施設を視察

主な 内容

- 世田谷と中川村で町と議会の課題を調査
- 第3回定例会【一般質問1氏】
- 令和5年度決算審査、監査の総括意見
- 地域内の人材派遣事業を調査
- 林業教育と地域内交通の道外先進事例を学ぶ
- 議会日誌、編集後記

世田谷区と中川村で 町と議会の課題を調査

町議会では10月9日から4日間の日程で、議員7名が東京都世田谷区と長野県中川村を訪問し、都市住民への情報発信や議会改革などについて、関係者との意見交換を行う調査活動を行いました。

都市と地方の 交流を調査

世田谷区では、下高井戸商店街振興組合、「ナカガワのナカガワ」の本店と支店、日本大学文理学部を訪問し、代表者らと意見交換を行いました。

下高井戸商店街振興組合では、商店街の成り立ちと、



学生に弁当販売する
ナカガワのナカガワ日大支店

将来に向けた課題について説明を受けました。現在、商店街の中心を通過する京王線の高架化工事が進行中で、新たに作られる駅前広場を、住民と商店街の結びつきを深める拠点として整備が進むよう、行政に働きかけているとのことでした。「ナカガワのナカガワ」は、昨年4月から日大支店を立ち上げ、日本大学文理学部の校舎内で弁当の販売を行っています。「当初は赤字が続いていたが、現在はスタッフ体制や原材料の見直しなどでようやく軌道に乗ってきた」とのこと。ふるさと納税のパンフレットも大量に配布するには工夫が必要など現場の声を直接聞くことができました。日本大学文理学部では、

学生が卒業後の進路に町内企業を選択する可能性を高めるにはどうしたらよいか、アイデアを交わしたほか、町と結ぶ包括連携協定や、企業版ふるさと納税などの意見交換を行いました。



日大文理学部では学部長らと意見交換

先進的な 議会改革を学ぶ

姉妹町村の長野県中川村では村議会を訪問し、全国でも数少ない議員報酬の年次別加算について、議論経過や住民理解への取り組みなどについて学びました。中川村は現在、人口約4,600人、議員定数10人ですが、議員のなり手不足、

議員の高齢化が課題となっていました。多様な意見を反映させるため、若い層の立候補を促したいと、報酬の見直し、議員のやりがいの充実などに取り組んでおり、報酬の見直し後の選挙では、30代、40代の議員が誕生したとのこと。また、定数の削減については、少人数だと議論が先鋭化してしまい、中間の意見が出にくくなってしまうと危惧していました。



中川村の陣馬形山キャンプ施設を視察

世界的な資料と 歴史を見学

東京都内では国立科学博物館を訪問し、地球環境の

変動、生命の誕生・絶滅・進化、人類の知恵の歴史などの展示を見学しました。特に、中川町と関わりの深い化石の展示を中心に回り、本町で産出される化石の資料価値を再確認できました。

また、長野県では国宝に指定されている400年余の歴史を持つ松本城を訪問しました。戦国時代に造られた黒い堅固な天守は、優れた築城技術を今に伝えています。国内外から多くの観光客が訪れており、文化財の保存と活用について知見を広めることができました。

参加した議員からは「現場を見聞きして深く考察することができた」「村議会の取り組みに刺激をもらった」「町の政策を判断するのに大いに役立つ」などの意見が出されています。

今後は調査先で学んだ事例を基に、政策議論をしつかりと行っていきます。

◆第3回定例会◆

令和6年第3回定例会は9月13日招集され、会期を10月3日までの21日間とし、1議員の一般質問、承認1件、同意1件、報告2件、条例改正2件、予算補正5件、認定6件、意見書2件、会議規則6件を議決し、閉会しました。



第3回定例会の様子

教育長に正田吉識氏が 任命されました



9月13日の定例町議会に、9月30日で任期満了を迎える高橋信行教育長の後任に、正田吉識氏（町教育委員会教育課長55歳）を選任する人事案が提出され同意されました。正田氏は「児童生徒の減少で、競争や選択肢が少ないとの声も聞かれるが、小規模ゆえのメリットに変えたい。経験と創造力を持つて職務に当たりたい」と抱負を述べました。

主な議案の審議結果

【承認】

▼令和6年度一般会計予算
補正の専決処分（7月2日
専決）

【原案承認】

部活動の上川管内代表大会、野球少年団の全道大会出場に伴う補助金64万円を追加し、予算総額を40億3,880万円としました。

【報告】

▼令和5年度中川町健全化
判断比率の報告【報告済】
令和5年度中川町健全化

判断比率のうち、実質公債費比率は13・8%で、早期健全化基準25%を下回りました。

▼令和5年度中川町資金不足比率の報告【報告済】

令和5年度は資金不足が生じませんでした。

【条例の一部改正】

▼国民健康保険条例の改正
ほか1件【原案可決】

マイナンバーカードと健康保険証の一体化に伴う改正です。

【予算】

▼令和6年度中川町一般会計予算補正【原案可決】

■主な予算の《追加》

- ・ 個人情報安全管理措置策定業務委託 396万円
- （個人情報情報の安全対策を強化します）
- ・ 移住体験住宅屋根修繕 234万円
- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種委託料 226万円（10月から65歳以上の希望者を対象にワクチン接種を実施します）
- ・ 排水機場空気圧縮機修繕料 225万円
- ・ 商工業活性化推進条例補助 285万円（申請が予算額を超過するため）
- ・ ふるさと納税返礼品開発支援補助 200万円（申請が予算額を超過するため）
- ・ 町道除雪委託 948万円（5年間の平均稼働時間の確定と労務単価や機械損料の上昇のため）
- ・ 公営住宅修繕料 300万円、営繕工事210万円（入居希望者が増加しているため）

・学習支援専門職員、文化スポーツ推進専門職員報酬337万円（児童生徒の習熟度に応じた学習のサポート、部活動の地域移行のコーディネートを行うため）

その他にも、公共施設の修繕や光熱水費、診療所の検査機器購入の追加などを行っています。

歳入と歳出に、5,437万円を増額し、予算総額を40億9,317万円としました。



中川中バドミントン部の大会参加の様子

質疑応答

間除雪費が追加されているが、冬期間の交差点の雪山

の解消などに繋がるのか。

【答】市街地の道道と町道の交差点の見通しについては、旭川建設管理部と協議、要望を毎年行っている。排雪費用は予算を確保済み。

【問】移住体験住宅は雪で軒が折れたものだが、管理体制をしっかりと。

【答】委託管理しているが、急な暖気で作業前に壊れる事態となった。今後は委託先を含め管理を徹底したい。

【問】グリーンシャトー92の非常口を改修するとの事だが。

【答】各階の鉄製非常口扉が腐食しており、冬期間に膨らみ開かなくなる恐れがあり改修するもの。

【問】ふるさと納税の返礼品開発とPR事業の進捗はどの程度進んでいるのか。

【答】返礼品開発は当初6件の想定を上回る応募があった。PR事業については、日本大学と連携したイベントを協議中で、年内には実施したい。



学校祭で演奏を披露する中川中吹奏楽部

【問】学習支援と文化スポーツ推進の専門職員の配置を年度途中に行うのはなぜか。

【答】任期付き職員ではなく正規職員を中途採用してはどうか。

【問】保護者の意見を踏まえ、学習と文化スポーツ活動への不安を解消するため、早期の予算計上とした。教育現場の退職者など、経験を積んだ方を採用したい。

【問】その他の会計についても、次の内容で原案可決されました。

・介護保険特別会計 927万円の増額（前年度の国・道負担金の確定に伴う返

還金の追加）

・簡易水道事業会計 86万円の増額（人事異動による職員給与と費ほかの追加）

・農業集落排水事業会計 1万円の増額（送金手数料の追加）

【意見書】

▼国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

【関係各位に送付】

要旨…北海道の道路を取り巻く環境は、高規格道路の未接続区間や災害による交通障害、交通事故、施設の老朽化など多くの課題を抱えている。これらの課題を解消し、食や観光など地域の潜在力を発揮させるためには安定した物流や道路ネットワークが不可欠であり、地方財政が厳しい中、道路整備・管理に必要な予算を安定的に確保すること。

要望事項として①道路整備の課題に対応するための財源の創設、予算の確保②国土強靱化実施中期計画の早期策定③高規格道路の未接続区間解消、災害に強い

道路ネットワークの整備④橋梁、トンネル等の老朽化対策の推進⑤冬期交通の安全確保、通学路の安全対策。その他にも、公共施設の長寿命化対策、除排雪予算の確保、流域治水の財政支援、災害発生時の人員体制の充実などが必要。



道路整備が進む町道歌内本線

▼義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書

【関係各位に送付】

要旨…教職員の安定的な確保、教育の機会均等を確保するため、国の負担率を現行の1/3から1/2に復元することが重要。経済的

に進学や就学を断念する子どもも増加しており、就学援助制度や奨学金制度、高校授業料無償化制度の拡大をする必要がある。

要望事項として①義務教育費の無償化と義務教育費国庫負担金の負担率を1／2に還元すること②給食費・修学旅行費・教材費など保護者負担の解消③就学援助制度や奨学金制度、高校授業料無償化制度の拡大。



紋別市を訪問した中央小の修学旅行

【継続調査】

▼閉会中の継続調査の申し出（総務常任委員会）

■事件

1 福祉施設のあり方について

2 少子化に対応した学校教育について
3 総務常任委員会にかかわる施策について

■期限

令和6年第4回定例会まで

【継続調査決定】

▼閉会中の継続調査の申し出（経済常任委員会）

■事件

1 ポンピラアフリズィングの大規模改修について
2 地場資源の活用と地場産業の振興
3 働き手不足の解消策について
4 経済常任委員会にかかわる施策について

■期限

令和6年第4回定例会まで

【継続調査決定】

▼閉会中の継続調査の申し出（議会運営委員会）

■事件

1 本会議の会期日程等議会の運営に関する事項について

■期限

令和6年第4回定例会まで

【継続調査決定】

【議員の派遣】

▼中川町議会調査（東京都世田谷区・長野県中川村）、上川管内町村議会議員研修会（東神楽町）

【議員派遣決定】

【調査報告】

▼経済常任委員会所管事務調査報告書（中間報告）について

【報告済】

調査内容は、11ページの「地域内の人材派遣事業を調査」を参照ください。

▼議会運営委員会所管事務調査報告書（中間報告）について

【報告済】

調査内容は、議会だより8月号8ページの「タブレット端末の導入効果を調査」を参照ください。

一般質問については、次のページに掲載しています。

広報づくりを全道の町村議員が学ぶ

町村議会広報研修会が札幌市内で8月20日に開催され、広報特別委員会の委員2名が参加し、「読者に読まれる議会報の企画と編集」を学ぶことができました。

研修会には、全道各地の町村議会から参加者が集まり、議会報の課題や役割、そして何をどう変えていくべきかを学びました。自治体（行政、議会）が住民の声をどのように聴き、どのように活かしていき、それをどのようにわかりやすく興味、関心を持っていただけるように伝えていくかを学びました。

今後も、1人でも多くの町民の皆様が議会だよりに興味、関心をもっていただき、読んでいただける広報づくりに努めてまいります。



広報研修会のような

問 音威子府バイパスが
開通した場合の効果は



答 冬期間の交通確保や
救急搬送の安全性が高まる

植村議員

音威子府バイパスは1993年度に事業化し、2007年度に着工しました。国道40号の雪崩や冠水などの自然災害による交通規制解消を目的として整備され、安全で確実に走行出来るようになる事を目指している事業であります。音威子府バイパスが開通した場合、中川町としての様な相乗効果を期待しているか伺います。

①供用開始によるメリット、デメリットは

②中川町周辺施設、及び道の駅なかがわの今後について

③計画段階評価実施中の北海道縦貫自動車道、中川～天塩区間の進捗について

石垣町長

①供用開始によって期待されるメリットは、第一に特殊通行規制区間の回避や冬期広域交通の確保、第2に道路交通の安全性向上、第3に救急搬送の安全性向上とともに、区間の所要時間が飛躍的に短縮されるといった、整備効果が主に挙げられます。

②音威子府バイパス周辺には道の駅なかがわやポンピラアクアリズイング、中川町エコミュージアムセンターなどがあることから、バイパス供用開始後は各施設の利用増加を見込んで、誘導看板設置の要望や必要に応じて施設の整備を行っていききたい。

③中川～天塩間約20キロメートルを2022年度に計画段階評価対象区間として、2度の北海道地方小委員会



令和7年度に開通予定の音威子府バイパス



植村美記夫 議員

と第1回地域意見聴取が実施されました。計画段階評価を進めるため、2回目の地域意見聴取に向け準備が進められています。

問 ヒグマの被害をどう防ぐのか

答 警察や関係機関と協力し、
速やかな対応を行う

植村議員

①中川町では今年度のヒグマ出没情報を公開していると思いますが、公開内容について

②秋になれば釣りやキノコ採り、登山やハイキングやキャンプなど、ヒグマの生息する場所に入って活動する人々に対しての対策について

令和5年度には、ヒグマの被害を防止する正しい知識を醸成するために、専門家を招いて講演会を開催しました。

などの緊急対応を行っています。

②ヒグマ注意特別期間に合わせて、町広報誌やチラシの町内回覧による啓発活動を行っています。

石垣町長

①インターネットの「ひぐまっぷ」で出没情報を提供しているほか、出没箇所近くの住民には、警察と協力して速やかに訪問するとともに、IP告知端末機による注意喚起を行っています。猟友会員から構成される鳥獣被害対策実施隊や関係機関と相互に連携を図り、現地調査やパトロール、追い払いや捕獲を合同で行う



町内で開催したヒグマ講演会

昨年度の町のお金の使い方を問う!

令和5年度中川町一般会計と5特別会計の決算が、10月2日、3日の2日間にわたり議会で審議され認定されました。

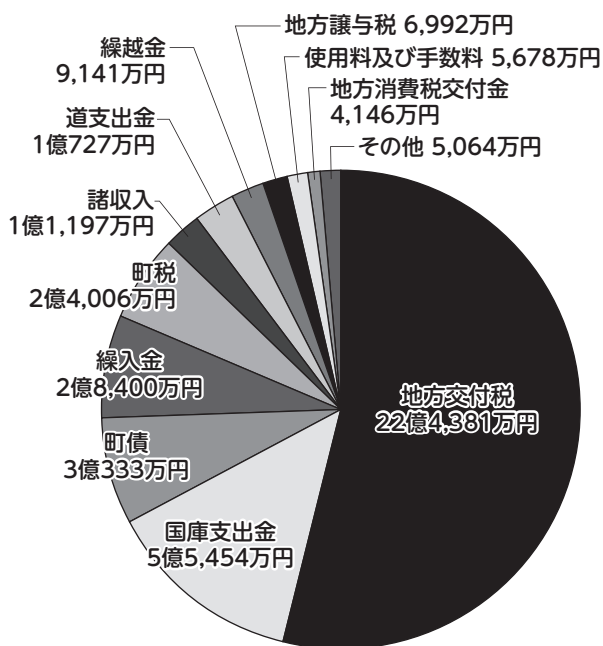
令和5年度 一般会計・特別会計

(1万円未満切り捨てのため総額が異なります)

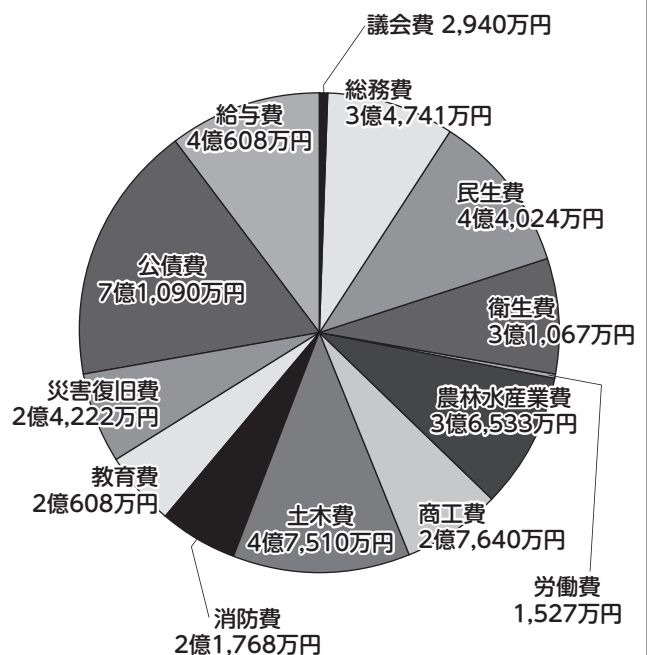
区 分	収入 済 額	支出 済 額	形式 収 支	実 質 収 支
一 般 会 計	41億5518万円	40億4277万円	1億1240万円	9285万円
国民健康保険	1億2554万円	1億2554万円	0万円	0万円
簡易水道事業	2億3294万円	2億3185万円	108万円	108万円
農業集落排水事業	1億 641万円	1億 405万円	235万円	235万円
介護保険	2億7236万円	2億7236万円	0万円	0万円
後期高齢者医療	3323万円	3323万円	0万円	0万円

※実質収支＝形式収支－翌年度へ繰越すべき財源

一般会計 歳入内訳



一般会計 歳出内訳



間水道料金、下水道料金の滞納額が昨年度より大きく増えているが。

間特別交付税の申請事務は過不足なく行っているのか。答項目は多数あるが、漏れのないよう行っている。事業によっては対象外の経費も多少生じるが、できるだけ少額になるよう努めている。

間徴収率は低くはないが、更に高まるよう、戸別訪問や分納誓約、差し押さえも含め努力を続ける。

間町税や住宅料、水道料の徴収は、公平公正の観点からもしっかりと対策すべき。

歳入全般
(一般会計・特別会計)

主な質問事項

令和5年度の事業が適正に執行されているか審査を行い、町当局から各事業の目的や効果について説明を求め、決算を認定しました。

【答】3月末に特別会計から公営企業会計に移行したため、出納閉鎖の5月末で比較すると、例年並みの収納率を確保している。

総務課関係（歳出）

【問】収入確保のため未利用の職員住宅の車庫を町民に貸し出してはどうか。

【答】雪下ろしの経費も掛かっており、関係課と協議したい。

【問】旧佐久小学校の活用の見込みは。

【答】行政での利活用は難しいと考える。民間からの問い合わせもあるが、利用までには結びついていない。

【問】職員のストレスチェック（委託費3万円）の結果と対策は。

【答】高ストレスの職員が若干見られる。専門医への相談の他、職場の親睦事業など良好な職場環境に努めたい。

【問】知事、道議選挙の掲示板（設置撤去費21万円）は町内に17カ所あるが、今後見直す考えは。

【答】町内会、自治会単位で設置している。今後は国の制度改正なども注視したい。

【問】災害備品の点検や、避難訓練実施の考えは。

【答】発電機などは定期的に点検と試験運転を行っている。避難訓練については、町内会連合会と相談して実施したい。

【問】IP電話以外にも、LINEを活用した情報発信を進めてはどうか。

【答】デジタル機器を活用した行政システムの検討を進めている。効率的な情報発信を検討したい。



災害対策用に町で保管している大型発電機

地域振興課関係（歳出）

【問】ナカガワファンクラブ事業（委託費304万円）の実績と会員への情報発信の状況は。

【答】昨年度に仕組みを構築し会員の募集を開始している。今年の9月末現在で253名の会員数となっている。これまで、イベント情報を2回発信しているが、情報発信の強化を進める。

【問】アフターコロナ対策の地域応援商品券事業（補助金597万円）では、使用率が高く効果が認められるが、商店等からの評価は。

【答】商店の中でも特に飲食店からは、とても助かったと

の声をいただいている。

【問】住宅の新築・リフォームの支援事業（補助金276万円）を行っているが、建築費が高騰している。制度を見直す時期ではないか。

【答】地理的に住宅建設費が高いこともある。灯油代や賃金の上昇なども加味しながら検討したい。

【問】旭川・札幌・東京の各中川会の会員の高齢化や減少が進んでいると思うが対策は。

【答】会員の維持も年々厳しくなってきた。ファンクラブの活用など、何らかの方法を模索していきたい。

【問】ポイントカード事業（補助金390万円）の町内消費への効果と今後について。

【答】商工会で定期的に消費動向調査を実施しており、美深町と音威子府村よりも、地元での食料品や生活雑貨の購入割合が高い。キャッシュレス化への検討も行っているが、経営者の高齢化

も課題となっている。



9月に都内で開催された東京ポンピラ会の交流会

【問】まちづくり研究費助成（48万円）の実績と町の政策への反映は。

【答】昨年9月に日大文理学部の学生が町を訪れフィールドワークを実施した。空き家、化石、農業などをテーマに研究し、報告書が作成されている。町でも関連事業の参考になっている。

【問】町産牛肉開発事業（補助金344万円）の現在までの成果と今後は。

【答】加工や流通、販路の整備

が町内外の企業の協力で行ってきた。ふるさと納税の返礼品も申請中で年末までには間に合う見通し。味付き焼肉の商品化も進行中。



秋味まつりでナカガワ牛の焼肉セットを販売

問町内の観光案内看板が老朽化しているが更新が必要ではないか。

答来年度に音威子府バイパスが開通する見込みなので、交通の変化を見極めて計画的に整備したい。

住民課関係（歳出）

問高齢者世帯の住宅除雪費助成（212万円）は、助成率1/2で限度額が3万円だが、除雪代も1戸当た

り7万円に値上がりしている。限度額見直しの考えは。

問看護師には就業支度金（貸付金300万円）があるが、町内企業は技術職の確保に苦労している。他の職種に拡大してはどうか。

答すべての産業で人手が不足する時代にある。機械化やAIの活用なども含め、民間とも協議して人材確保の対策を進めたい。

問町立診療所が入院できない状況が続いているが、今後の見通しは。

答現在、看護師は4名いるが、入院に対応するにはあと3名が必要。様々な手段で募集を行っているが、全国的に看護師が不足している。病状によって旭川の病院への幹旋等も行っている。

問幼児センターの入園見込みと保育士の体制は。

答現在、33人の幼児が入園しており、来年度は32人前



幼児センター発表会のようす

後の見通し。職員数に余裕はないが、国の基準は満たしている。保育補助制度も活用して運営したい。

農林課関係（歳出）

問畜産クラスター支援事業（補助金1,704万円）は、当初の計画と5年度の決算額が大きく乖離しているが。

答借入利息、固定資産税、乳用牛導入費の補助を行っているが、借入金の上げ償還や導入も計画頭数までには達していないこともある。今後も支援を継続する。

問道営農地整備事業（負担金1,719万円）が6年度に完了するが、その後の計画は。

答各農家の希望調査を行い、道営事業や公社営事業の検討を進める。

問森林環境保全整備事業（工事費2,370万円）が4年度と比較すると約600万円減少している。公共事業の側面もあるが、林業振興の考え方は。

答間伐事業の面積が前年度より減少した。本町の基幹産業は農林業であり、町有林、民有林の施業を通じ林業振興を図りたい。

問熊の出没巡回出動や捕獲駆除費（報償費134万円）は、危険と責任に見合う金額なのか。市街地の出没を想定した訓練は。

答巡回や駆除の単価は各市町村が猟友会の意見を聞き決定している。市街地出没の訓練については、上川北部の合同訓練に参加している。



ヒグマの駆除に使用する箱わな

問かばちやの出荷対策事業（補助金74万円）が行われているが、輸送費、人件費、資材費も高騰している。

答目標の達成度や改善点など、他の事業との総体的な検討や判断が必要。生産者やJAとも農業の明日を考える話し合いをしたい。

建設水道課関係（歳出）

問公営住宅の営繕（修繕費1,009万円）では、退去する入居者が内部の改造や花壇を作った場合の復旧も町が負担するのか。

答住宅の改造は条例で禁止しており個人が復旧する。

入居時に草刈り、雪下ろしなどの管理をすること等も含めて説明している。

問降雪期の公営住宅の雪庇はどのように対応しているのか。

答法律や条例で入居者に注意義務がある。高齢者が落すのは危険なので、福祉の助成制度の案内も行っている。入居者で協力して管理されている。

問佐久地区の水道管更新工事（工事費8,963万円）が行われているが、今後の予定は。

答平成28年度から実施しており、令和1、2年度には佐久浄水場を更新した。導水管や配水管の更新を進めており、8年度に完了の予定。

教育委員会関係（歳出）

問小中学生の自転車ヘルメット購入補助（補助金1万円）は、実績額がかなり少ないが。

答3件の実績に留まっております、ヘルメット着用の啓発と補助制度の周知をさらに進めたい。



中川中のパソコンを使った授業のようす

問児童生徒にGIGA端末が配られ、授業に活用されているが、一部教室でネットワークの遅延が生じていると聞いているが。

答遅くなる教室では、モバイルルーターを利用し対応している。端末の能力が低いこともあり、次年度に端末更新とネットワークの改善を予定している。

問町人口が減少する中、スキー場やプールなどは広域

利用の検討をする時期ではないか。

答スキー場は以前、圧雪車の更新時に議論した経過もある。今後も議論が必要と思う。

問パークゴルフ場などの使用料について、受益者負担が適切なのか全体的に議論してはどうか。

答使用料に限らず、行政の不断の見直しを継続することとは大事と思う。施設の目的や多様な価値観など、議会とも広い意見の交換が必要と思う。



町民スキー場で行われた中央小のスキー授業

監査の総括意見

令和6年8月19日から30日までの期間、令和5年度中川町一般会計及び5特別会計について、監査委員による決算審査が行われました。関係書類や諸帳簿等を審査したほか、各担当課から事業内容や施設の管理状況等の聞き取り、現地調査を実施し、9月9日に町長と町議会に総括意見を次のとおり提出しています。

令和5年度一般会計並びに特別会計の決算関係書類について審査し、概ね適正に処理されていると判断した。

財源は限られており、地域住民が求めているものは何かを念頭において町政を進められたい。以下の点に注意されたい。

- 1) 財政支援団体の予算流用の明確化の厳守
- 2) 町税や住宅料、水道料等の滞納整理の継続、並びに各担当課の徴収連携
- 3) 特定の職員の勤務が過重にならないよう配慮すること
- 4) 町民バス運行の再検討

5) 町内の老人福祉施設の改修の検討

6) 毎年度、予算の厳格化と執行時における経費削減に努めること

7) 事務および事業執行の課内チェック体制を強化すること

これからの一年一年は、中川町にとっても職員にとっても重大な局面になるだろう。町長を先頭に若手職員から管理職まで、お互いに意見し合える職場環境にしてほしいことを期待する。

（一部抜粋）

代表監査委員 安西 克己
監査委員 平木 総司

地域内の人材派遣事業を調査

経済常任委員会（平木総司委員長）の委員4名で、8月8日に名寄市内で人材派遣を行っている、なよろ地域づくり事業協同組合を調査に訪れました。

同組合は、特定地域づくり事業協同組合制度に基づき、農業や観光、バス・タクシーなど、繁忙期と閑散期があり季節雇用を行っている事業所が組合員となつて設立されています。

現在は事務局1名と派遣する正規職員4名体制で運営されており、農作物の集出荷施設や乾燥施設、観光バスやタクシーの運転業務など、各事業所の繁忙期に応じて人材が派遣されています。

この制度では、事務局の人件費や運営費に国と市から交付金の支援があるほか、知事への届け出により労働者派遣業務を行えるメリットがあります。



民間企業の人材派遣の取り組みを調査

しかし、組合を新規に立ち上げるには複数の事業所の連携や調整を十分に行う必要があります。本町で実現するにはこの事業への将来性を感じる事業所が、強固な連携を組めなければ難しいものと感じました。

林業教育と地域内交通の道外先進事例を学ぶ

上川北部市町村議会議長会が7月29日から4日間の日程で先進事例を学ぶ行政視察を実施しました。本町議会からは佐藤輝雄議長と梶田健一事務局長が参加し、6名の議長と共に京都府内の2つの視察先を訪問しました。

視察先の京都府立林業大学は、実践的な人材育成や資格取得に取り組み、平成24年の開校以来、179名の人材を林業関係機関に送り出しています。

特徴的な取り組みとしては、京都府独自の資格である高性能林業機械操作士、森林公共政策士の資格取得や、大学・高校・企業との連携が行われています。林業機械メーカーのスチール社との連携では技術スタッフによる講義のほか、ドイツへの海外研修も行われています。意見交換では学生の確保や過疎地域への就職



林業大学で様々な意見を交換

の難しさなどが話されました。

京丹後市丹後町のNPO法人では、町内のバス本数の減少、民間タクシー営業所の廃止などで、高齢者の移動が不便との声から、地域住民がドライバーとなり自家用車で住民や観光客を運ぶ交通空白地有償運送「ささえあい交通事業」を実施しています。

配車にはスマートフォン



ささえあい交通の仕組みを学ぶ

のアプリを活用し、ボランティアのドライバーはすきま時間を活用でき、また、高齢者や小さな子供を持つ家庭からは、玄関先まで車が来てくれるので助かるとの声が届くそうです。

経営は厳しいとのことでしたが、バスやタクシーのドライバー不足など、上川北部とも共通する課題も多く、一つの方策として興味深い視察となりました。

議会目誌

7月

17日 第4回広報特別委員会
22日 第8回議会運営委員会
28日 8月1日

上川北部市町村議会
長会道外行政視察

8月

3日 中川まつり
4日 中川町120周年表彰式
5日 第2回総務常任委員会
8日 経済常任委員会所管調査【名寄市】
16日 納涼盆踊り大会



納涼盆踊り大会のようす

20日 全道議会広報研修会
27日 西天北五町衛生施設組合議会定例会【幌延町】

9月

3日 第8回全員協議会
第9回議会運営委員会
6日 上川北部市町村議会
長会定例会【和寒町】
7日 中川中学校学校祭
12日 中川町敬老会
13日 第9回全員協議会
第3回定例会（一般質問、議案審議）



札幌中川会のふるさと訪問のようす

14日 札幌中川会ふるさと訪問交流会
15日 秋味まつり、北海道丸太押し相撲大会
18日 第5回広報特別委員会
24日 第10回議会運営委員会

28日 東京ポンピウ会総会【東京都】

10月

2日 第3回定例会（決算審査）
3日 第10回全員協議会
第3回定例会（決算審査、議案審議、閉会）
第11回全員協議会

9月12日

町議会調査【世田谷区、中川村】
17日 上川町村議会議長研修会【美深町】
19日 中央小学習発表会
20日 中川消防秋季消防総合訓練

YouTubeで一般質問を配信中

町議会では、議会を身近に感じてもらおうと、今年4月から一般質問をYouTube（ユーチューブ）で録画配信しています。「中川町議会」と検索するか、下記または一般質問のページのQRコードをご利用ください。



中川町議会のチャンネル

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



▲YouTubeの配信画面

編集後記

議会広報誌は、このたび150号を迎えることができました。これもひとえに、日頃より当誌をご愛読いただいている町民の皆様のおかげであり、心より感謝申し上げます。

昭和62年7月に創刊以来、私たちは議会活動を広く、分かりやすくお伝えし、町民の皆様に信頼される広報誌を目指してまいりました。150号という節目は、これまでの歩みを振り返ると同時に、新たな挑戦への第一歩でもあります。

今後も議会の透明性を高め、社会の課題に対して迅速かつ正確な情報提供を行い、皆様とともに歩んでまいります。引き続き、変わらぬご支援とご愛読を賜りますようお願い申し上げます。（英責）

議会広報特別委員会

委員長 佐々木英和

委員 若山 真一



道産 間伐材使用 この広報紙は道産間伐材を使用しています。